



RECOMMEND

発行：広島大学図書館 www.hiroshima-u.ac.jp/library

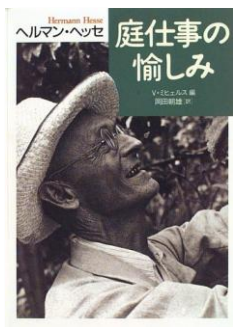
残暑のレコメンド本

少し秋めいてきましたが、まだまだ夏が続きますね。図書館員からのおすすめ本をどうぞ。

> 明日世界が減びても今日植えるりんごの木

「車輪の下」で著名なドイツのノーベル文学賞作家ヘルマン・ヘッセは、自宅の庭をこよなく愛し、その後半生は一日のほとんどを庭で過ごしたと言われています。

これは、ナチス政権下での弾圧に耐えながらも、木や草花、土や雨、生物と自然を讃える魂を持ち続けた作家の詩文集。挿絵となっているヘッセ自筆の水彩画も可愛らしく、生きることの真理を感じとれる一冊です。



庭仕事の愉しみ

ヘルマン・ヘッセ著、岡田朝雄訳 草思社 1996
944/H-53 (中央図書館2階、自動書庫、西図書館2階・開架)

> 暗号もセミもスロコリーも“数学”



戦時中に暗号解読に貢献したアラン・チューリングの物語(映画「イミテーションゲーム」でおなじみ)や、13年か17年ごとに地上に現れる素数ゼミ(蟬)が、天敵との遭遇を避けるために素数周期を獲得したという不思議な生態、一つの房が全体と同じような形になるブロッコリーのフラクタル構造など、面白い数学エピソード満載です。

数学者たちの挑戦や自然界に隠れた数字の謎と法則にミステリー小説を読むように引き込まれ、数学が苦手でも十分楽しめますよ。

数字の国のミステリー

マーカス・デュ・ソーティイ著 富永星訳 新潮社 2012
410.4/D-99 (中央図書館2階、東千田図書館・開架図書)

> 違和感からの「本気の村上春樹論」

『ノルウェイの森』前後で村上春樹観の変化した読者は多く(私もそうです)、これは初期の村上作品に魅了されて作家になりながらも違和感を感じ続けている著者が、あえてアンチを名乗りその原因を解き明かす文学論です。

一方で、やはり村上作品を読むのをやめることができない著者は「愛ゆえに批判する」本気で誠実な読者といえ、初期の『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』を金字塔とする私には、共感しすぎる一冊でした。



愛ゆえの反ハルキスト宣言 平山瑞穂著
皓星社 2017 910.26/H-69 (中央図書館2階)

> 自然の循環に生きる「地球再生」への道



これは持続可能な暮らしを実現するための単なるハウツー本ではありません。緑化工学を専攻し、森作りや土壌について研究した著者が、ハケ岳南麓などでの農的暮らし体験を先人の知恵に照らして考察し、辿りついた自然界の普遍性、つまり「いのちとは何か」という原理について学ぶことのできる本です。

これが分かれば、人類は地球にとっての「がん細胞」ではなく、地球という「いのち」を豊かにしていく存在になれるはず。著者の体験や思考を共に巡ってみませんか。

地球再生型生活記 : 土を作り、いのちを巡らす、パーマカルチャーライフ 四井真治著、アノニマ・スタジオ
2023 610.1/Y-94 (西図書館3階・開架)

i INFORMATION

9月のお知らせ

中学生の職場体験を実施します

中央

下記日程で、近隣中学校の職場体験実習を受け入れます。

9月8日(火)～10日(木)
9月15日(火)～17日(木)

空調工事が終了しました

中央



4月に始まった中央図書館の空調工事が終了しました。

現在は、1階から3階の個別空調の増設、および南面・トップライトのガラス取替えも完了し、より快適に過ごしていただけるようになっています。
工事期間中は利用制限や騒音等でご不便をおかけしました。



全国大学ビブリオバトル2026

チャンプ本獲得者には
図書カード5000円分贈呈

広大ブロック予選
10/17(土)

バトラー募集



Hands On

貴重資料のレズリカを作りました

でじ蔵メンバーで、広島図書館デジタルアーカイブで公開している貴重資料の画像からレプリカを作成しました。8月のオープンキャンパスで展示し、普段は手にとることの難しい貴重資料に実際に触れることができたという感想などを得ました。これからも時々展示しますので、ぜひ手にとってご覧ください。



↑作成会のようなす

広島大学出版会
新刊紹介

『中国占術の源流』

ー通論・学統・易書・技法で読み解く漢代易学の全貌ー

藤田 衛著

2026.06

『易』の学問が
いかにして知の体系に成長
したのか。『易』に興味のある方、これ
から『易』を学びたい方が活用できる、
約60年ぶりの本格的な入門・概説書です。

123.1/F-67

中央図書館2階フェニックス文庫
東千田図書館・開架図書

→→底なしに深い「易」の世界へ

CLIP

今月の古典籍

カント『永遠平和のために』 Zum ewigen Frieden : ein philosophischer Entwurf / Immanuel Kant. 1795.

貴重資料室所蔵

広島大学図書館が所蔵するイマヌエル・カント『永遠平和のために』ドイツ語版初版（1795年）は、恒久平和の実現を哲学的に構想した歴史的名著です。被爆地・広島に根ざし、「平和を希求する精神」を理念の柱とする広島大学にとって、本書は学術と平和への使命を象徴する貴重な資料といえます。

図書館では、初版本を貴重書として保存するとともに、デジタルアーカイブで全文画像を公開しており、誰もが平和思想の原点に触れることができます。なお、カントは翌1796年に増補版を刊行しており、現在の日本語訳の多くはこの版を底本としています。



←広島大学図書館デジタルアーカイブ

Further Reading

永遠の平和のために

丘沢静也訳 2022
講談社 講談社学術文庫
134.2/Ka-59
西図書館2階小型



永遠平和のために

宇都宮芳明訳 2009
岩波書店 岩波文庫
134.2/Ka-59
中央図書館2階小型
西図書館2階小型
霞図書館集密
東千田図書館小型図書

CALENDAR

9月の開館カレンダー

中央図書館

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

東図書館

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

西図書館

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

霞図書館

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

東千田図書館

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館

詳細な開館時間
はこちら→

